



# けやきっ子

六栄小学校だより

第8号

令和6年6月14日

文責：久保田 真二

学校教育目標：瞳輝く「けやきっ子」～自立、協働、創造～

## 「命」の大切さを学び、心優しい子が育っています～芋苗植えを通して～

今週月曜日、ひまわり幼稚園の年長さんと1年生と一緒に芋苗を植えました。1年生が、ひまわり幼稚園の年長さんに芋苗の植え方を教えている姿は微笑ましく感じました。芋苗を植えた後は、自己紹介をしたり、握手をしたり、交流をすることができました。ひまわり幼稚園の年長さんも喜んでくれました。秋には、たくさんの芋ができるといいなと思います。今後も、ひまわり幼稚園と六栄小学校が連携しながら子どもたちの成長に携わっていきます。ひまわり幼稚園と1年生の芋苗植えの後は2年生が芋苗植えをしました。子どもたちが植えた芋が大きく育って、秋に収穫ができるのが楽しみです。



さて、芋植えが終わった後日談を紹介します。芋苗植えをした次の日に畑を見に行くと、2年生の男の子が一人で水やりをしていました。体育館前から水道のホースを引っ張ってきて、丁寧に水かけをしていました。「当番なの？」と声をかけると、「違います。」の返事。芋苗は言葉が発することはできません。誰かに指示されたわけではなく、芋苗のことを心配して、進んで水やりをしてくれたのです。次の日の朝にも畑を見に行くと、今度は2年生の子どもたちがジョウロをもって畑に水やりをしています。1年生の子どもたちもペットボトルに水を入れて水やりをしています。このように、1年生・2年生の子どもたちが自分たちで植えた芋苗のお世話をしている姿を見て、心優しい子どもが育っていること、また、動植物のお世話を通して「命」の大切さについても学んでいることを嬉しく思いました。

## トイレトペーパーさんからのお願い

六栄小学校のみなさんへ

はじめまして、私はトイレトペーパーです。今日は、みなさんにお願いがあって手紙を書きました。先日、私の仲間が使われないままに、トイレの大便器に捨ててありました。私たちは、みんながウンチをした後、おしりをきれいにするという大切な役目を持っています。しかし、その大切な役目を果たすこともできず捨てられ、びしょぬれになってしまいました。びしょぬれになった仲間は乾かしても使われることができないので、捨てられてしまいました。今でもその仲間の悲しい顔を忘れることができません。また、私も同じように大便器に捨てられるのではないかと心配でなりません。

六栄小学校のみなさん、どうか私たちトイレトペーパーを大切に使ってほしいのです。また、学校にはたくさんの物があります。ボール、石鹸、机、タブレットなどなど、みんなが楽しく学校生活を送れるように応援しているのです。トイレトペーパーだけでなく、学校の物を大切にできる子になってほしいと願っています。六栄小学校の子どもたちが、もっともっと優しい子になってくれることを願っています。

六栄小学校のトイレトペーパーより



## 自転車の乗り方～繰り返し指導していきましょう～

今週、東京江戸川区で小学3年生の児童が車にはねられ亡くなるという悲しい事故のニュースを見ました。このニュースを見たときに、他人事とは思えませんでした。六栄小学校でも、放課後に自転車に乗って学校に遊びに来る子、校区で自転車に乗っている子をたびたび見かけます。幸いにして今のところ、本校児童の事故は起こっていません。学校でも交通安全については指導しますが、各家庭におかれましては自転車の乗り方や交通マナーなどについて繰り返しご指導をお願いします。



※毎月17日は「ながす交通安全の日」です。